



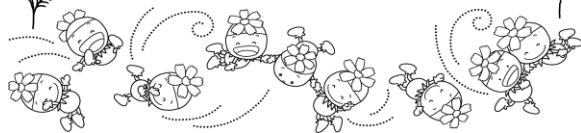
### 保育参観

日時：10月20日（土）

0.1.2歳児クラス  
9：15～10：00

3.4.5歳児クラス  
10：00～11：00

日頃の子どもたちの取り組んでいるあそびを一緒に楽しんでいただきながら、しっかり触れ合って楽しい時間になれば…と思っています。



### お願い

最近、夕方お迎えに来られてから、デッキや園庭で遊んでいる姿を見かけることがあります。門が開いている時間は園庭を駐車場として利用していただいていますので車の出入りもあり危険です。これからの時期は、日も短くなってきて、暗い中で遊具で遊ぶことも危険です。速やかに帰れるようお子さんに声をかけてくださいますようお願いいたします。



### あそびの中で育つ見えない力

朝夕はすっかり涼しくなり、過ごしやすくなりました。新年度がスタートして半年が過ぎました。子どもたちは、環境に慣れ、保育園での生活の土台を作ってきた半年間だったように思います。また、保育者や友だちとの関わりも深まり、周りの様子が見え、落ち着いて行動したり、判断できるようになってきています。

自分でパンツがはけるようになったり、鉄棒で逆上がりができるようになったりすることも、子どもたちの嬉しい成長です。子どもたちが出来るようになったことだけに着目するのではなく、そこまでの過程や子どもの心の動きなど、目に見えにくいものへの評価や気持ちの読み取りをしていくことを大切にしていきたいと思っています。「できたね。すごいね。」と褒めるだけでなく、「〇〇が難しかったけどできたね。」など具体的に伝える事で、子どもたちの意欲は高まります。達成感を味わうことが、自信へとつながっていくのです。

子どもたちのあそびも、ますます豊かになってくる時期です。ぶどうの皮は捨てるもの…ではなく、あそびに活かせるものと考え出した、ぶどう寒天あそび。2歳児は、「つめたーい」「ぶどうのおいがするね」「ぶどうの皮あったよ」と、あそびの中で自分が気づいたことや、自分の思いを伝えたり、友だちがどんなふうに遊んでいるのかにも関心があるようでした。子どもたちがじっくりあそびこめるように自分に合った学びの形が尊重される環境の一層の工夫を考えています。

先日、年長児が自分たちで作った水族館に、小さいクラスの友だちを招待してくれました。どんなものを準備するのいいのかなど、相談したり、話し合いをしたり、試行錯誤しながら進めてきました。友

だちと一緒に活動する中で、スムーズに行くことばかりではなく、トラブルや混乱も起こります。それをどう調整し、解決するのも協同的な学びです。友だちとの意見や考え、興味を持っていること、好きなものがお互い違うことが、一人ひとりの学びを広げていくこととなります。小さいクラスの友だちに自分が作った魚を紹介したり、いろいろなコーナーのあそび方を教えているとき、小さい子の目線に合わせ、腰を低くして優しく声をかけている年長児の姿もほほえましく思いました。自分以外の人や物に気持ちを向けられるようになったり、友だちとのやり取りの中で、心の葛藤を繰り返し経験しながら、自分の気持ちに折り合いをつけられるようになっていきます。これも、目には見えにくい力ではありますが、日々の保育の中で自然に育つ力なのです。

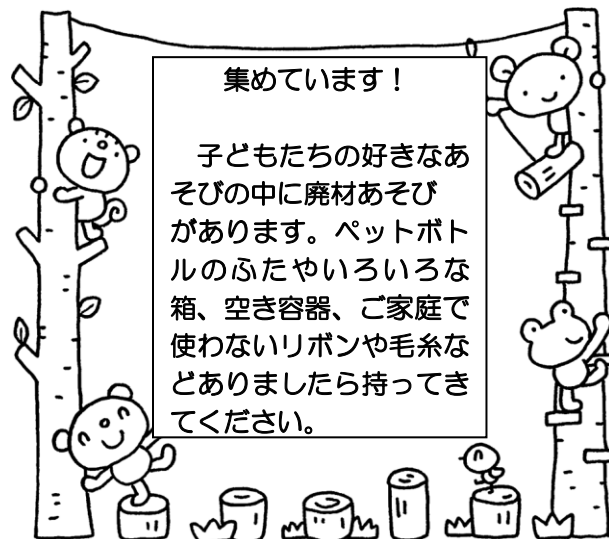
保護者の方にドキュメンテーション(写真と文章)などを使って保育園での子どもたちの様子、子どもたちがどんなことに心を動かしているのかをお伝えしています。ドキュメンテーションを通じて親子の対話が生まれることも嬉しいことです。その対話の中で、「こんなこと思っていたのか」と子どもたちの育ちに気づいていただきたいと思います。

10月は気候もよく、過ごしやすい時期になります。0・1歳児は園庭で秋の風を感じながら、目に入るものを指差し、伝えたい気持ちを声や言葉に出したり、身体をしっかり動かして遊びます。2歳児から5歳児はバスに乗って、園外保育に出かけます。秋の自然にたっぴりと触れ、豊かな感性を培い、動かないものにも生命があることを感じ、感じたことを表現できる子どもたちに育ててほしいと願っています。

園長

### 集めています！

子どもたちの好きなあそびの中に廃材あそびがあります。ペットボトルのふたやいろいろな箱、空き容器、ご家庭で使わないリボンや毛糸などありましたら持ってきてください。



### 子育てメッセージ

子どもたちが それぞれに  
自分の芽を  
息吹かせられるように  
大人は 豊かで あたたかい  
土でありたい

ある農家の話。その人は、野菜が本来持っている味を最大限に引き出すために、野菜の種類に合わせて「今年こそは、きっといい土を作って見せる」とがんばっています。

子どもが本来持っているものを最大限に引き出して育てるために大人自身が豊かで、あたたかい土でありたいと思いました。

全国私立保育園連盟より

